

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2012年11月19日
JAM熟練技能継承推進室

JAM関連企業で事業活用

～埼玉ユニテックの従業員に旋盤の技能を指導～

埼玉県のアAM加盟組合の企業で、11月10日から普通旋盤の技能指導がスタートした。その企業は、桶川市にある各種歯車及び組立製品の設計・製造を主要事業とした、株式会社ユニテック（資本金5千万円）。

同社では従来から技能者の人材育成に注力してきましたが、このほど「従業員に今までの担当とは違う技能を身に付けさせたい」として、JAM熟練技能継承事業を活用して「普通旋盤」の技能指導を受けることとなったもの。指導を受けるのは社内で選抜された2名で、旋盤を操作したことはあるものの、本格的に加工作業をするのは初めて。今年度中に基本的な技能を身に付けて、来年度に技能検定試験2級へのチャレンジを予定している。

指導するのは高度熟練技能者（平成12年認定登録）の伊藤博章氏で、技能指導の初日は、安全な作業姿勢やバイトの芯出し、ハンドルの位置や送り方などの基本事項を指導。作業工程の中で「バイトもたわむ」ことなども教えつつ、精度を出すための旋盤の調整も行なった。

今回の指導を依頼した同社では、受講者だけではなく管理者や技能指導担当者なども一緒に聴講するという熱の入れようで、この積極的な姿勢は評価に値する。

初回の指導を受けた受講者は「初めは旋盤の作業が心配だったが、指導を受ける中で十分出来るような気がしてきた」と感想を述べた。



<開講風景（左が伊藤高度熟練技能者）>



<指導を受け慎重に作業する受講者（右）>



<加工物の取り付けや加工の要点等を指導>



<色々な角度から受講者を観察して指導>